

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年5月15日(2014.5.15)

【公開番号】特開2011-221528(P2011-221528A)

【公開日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-044

【出願番号】特願2011-76639(P2011-76639)

【国際特許分類】

G 03 G 15/16 (2006.01)

B 32 B 27/34 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/16

B 32 B 27/34

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月28日(2014.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

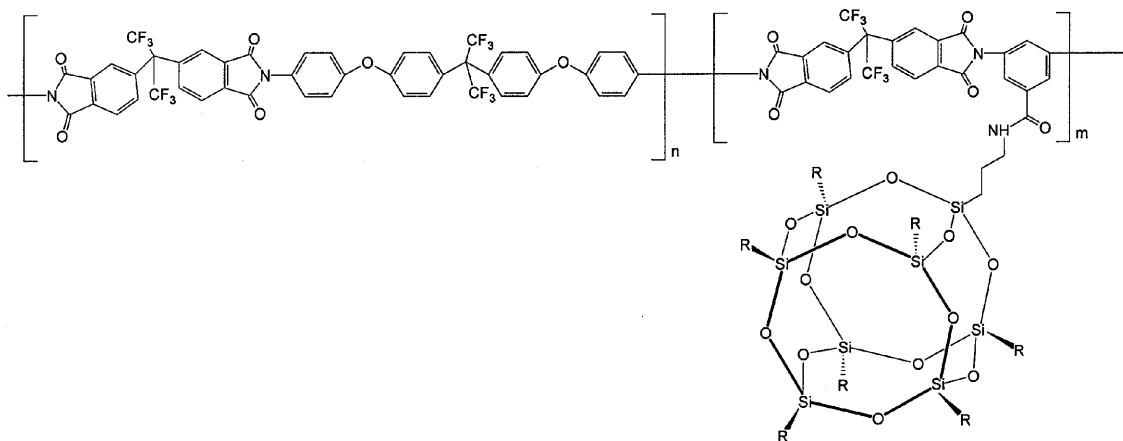
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板層と、

次式で表されるポリイミドポリマーを含む、前記基板層に配置されている表面層と、



〔式中、Rは、アルキル、アリール、又はこれらの混合物であり；nは、前記ポリイミドポリマーの約50モル%～約99モル%であり、mは、前記ポリイミドポリマーの約50モル%～約1モル%である〕

中間転写体の重量に対して約1重量%～約60重量%のカーボンブラックを含有する導電性添加剤と、

を含む中間転写体。

【請求項2】

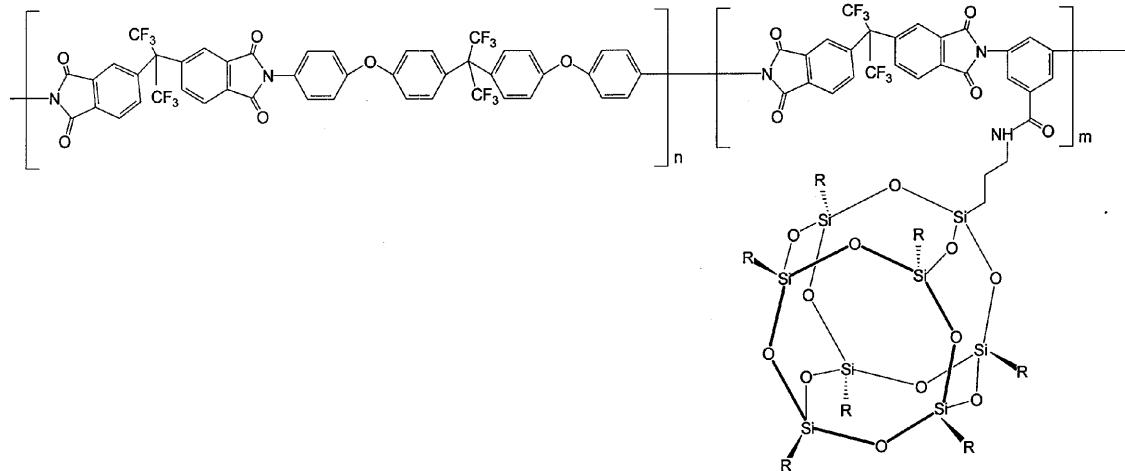
請求項1に記載の中間転写体において、

前記アルキルは、イソブチル、イソオクチル、シクロヘキシル、シクロペンチル、およ

びメチルからなる群より選択される少なくとも1種であり、前記アリールは、フェニル、
ドデカフェニル、フェネチル、およびフェネチルイソブチルからなる群より選択される少
なくとも1種である、中間転写体。

【請求項3】

次式で表されるポリイミドを溶媒に溶解し、



[式中、Rは、アルキル、アリールなど、又はこれらの混合物であり；nは、前記ポリイミドの約50モル%～約99モル%であり、mは、前記ポリイミドの約50モル%～約1モル%である]

前記溶解したポリイミドを、カーボンブラックを含有する導電性添加剤とともに粉碎して、分散物を作成し、

前記分散物を基板層にコーティングし、該分散物を硬化させて、中間転写体を作成する、中間転写体の製造方法。

【請求項4】

ポリイミドポリマーを含む底部層と、

ヘキサン接触角が約20°～約45°である多面体オリゴマーシルセスキオキサン(POSS)フルオロポリイミドポリマー、および表面層の重量に対して約5重量%～約20重量%のカーボンブラックを含有する導電性添加剤を含み、前記底部層に配置されている表面層と、

を含む、中間転写体。